

一八二 嘉永三年正月

吾妻郡入山村の花敷・応徳温泉稼ぎ方継

続願い〔A〕

おそれながらかきつけ もつてねがいあげたてまつり
乍いレ恐書附ヲ以奉ニ願上い一候

当御代官所

上じょう 芴吾妻郡

未なも酉迄三ヶ年季明

字花敷

さらしゆ

一 晒湯

入山村

受

壹ヶ年冥加永八拾九文

外永弍文 切替増

申まる酉迄弍ヶ年季明

字応徳

一 晒湯

同 村

弥平次

受

壹ヶ年冥加永九拾弍文

外永壹文 切替増

右者みぎは当戌年季明ニ付、猶な又切替弍ヶ所共ニ、「当戌より寅迄五ヶ年

季、書面冥加永辻つじヲ以「稼方被ニ 仰付ニ度奉ニ願上ニ候、何卒なにとぞ以ニ

御是悲(慈)ヲ、右之段御聞濟被ニ成下置ニ候ハ、難ありがたきレ有仕合ニ

奉ぞんじレ存候、以上

右入山村

嘉永三戌年

役人惣代

正月日

年寄

弥平次印

岩鼻

御役所